

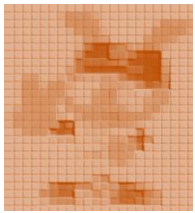
「夢は大きく、目標は小さく」

校長 安藤 徹



また新しい1年が始まりました。令和5年、2023年のスタートです。『本年も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。』

さて、すでにご存じの通り今年「うさぎ年」ですね。新年早々、いきなり野球の話から恐縮ですが、トラ年だった昨年は「黄色と黒のたてじまのチーム」がさぞ奮起してがんばるのだろうと思いきや、実はそうでもありませんでしたので、今年こそ干支である「うさぎ=ラビットにつながるのあるチーム」(さあ、どこのチームかお分かりですか??)ががんばって、きっと日本一になってくれると私は信じております。(少々私情が入ってしまい申し訳ありません)



■(賛否両論ありますので鮮明な画像を掲載できないのが残念です・・・)

それでは、今年の干支であるうさぎを使った「兎(うさぎ)の登り坂(のぼりざか)」という言葉をご存じでしょうか?

この言葉は「うさぎの後ろ足はとても発達していて、前足に比べていぶん長いため、きつい坂を上るのも得意で、持ち前の力を発揮してぐんぐん前へ進んでいくことができる」ということから「自分の得意分野や強みを生かして能力を発揮していくこと」を表しているのです。



そこで、1年の始まりにあたりぜひみなさんにもこの「うさぎの登り坂」のような自分の得意なことやほかの人には負けたくないことを一つだけでもよいので見つけて、それをきっかけや自信にしながら、うさぎがジャンプするのと同じように大きく飛躍する1年となることを期待しています。ただし誰でもジャンプするには「ホップ・ステップ」という助走も大事になります。いきなり助走もなくジャンプしようとするとは必ずどこかに負担がかかり、無理が出てきますからね。

私は今までの2年間この新年1月号では毎年、「せっかく新年を迎えたのだから、気持ちを新たにしてその年にできそうなできるだけ具体的な目標を持ちましょう」とお伝えしてきました。『夢は大きく、目標は小さく』という言葉がありますが、大きな目標や夢を実現しようと、いきなり何か大きいことをしようと思わず、できるだけ具体的な小さな目標を立てて、それを目指して一つ一つコツコツと努力していくことで大きな目標や夢の実現に近づくということは忘れてはいけない大事なことだといつも思っています。



また、女子サッカー・元なでしこジャパンのキャプテンだった澤穂希(さわ ほまれ)選手も「夢は見るものではなくかなえるものだ。」と言っています。夢は思い描いているだけでかなうものではありません。夢をかなえるためにはもちろん目標を持つことが大切になります。目標があれば大きな苦難も乗り越えることができますし、頑張り続けることもできると思います。

また新しい1年間を大切に、それぞれが目指す目標にむかって・・・がんばりましょう

令和5年1月1日